

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年1月20日（金）

2 確認箇所

Eタンクエリア

3 確認項目

Eタンクエリアのフランジ型タンクの解体作業の状況

4 確認結果の概要

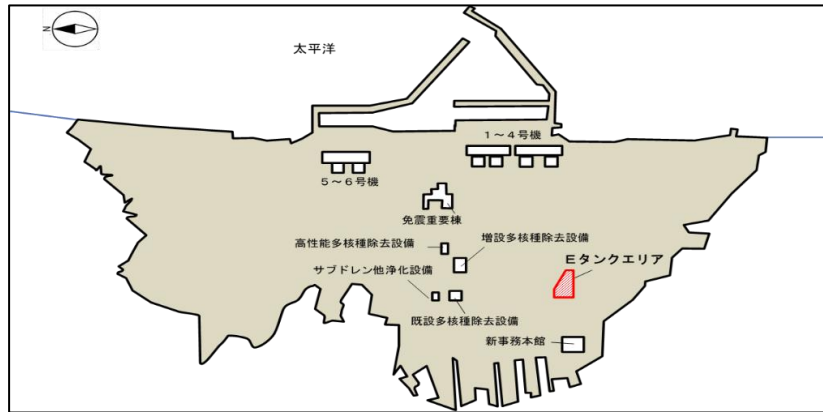
東京電力によると、構内の廃棄物管理の適正化のため、廃棄物の保管容量を確保することとしているが、その一環として一時保管エリアの追設を計画している。

追設予定の一時保管エリアの一部であるE E 1及びE E 2はEタンクエリアに設置される計画であるが、Eタンクエリアでは、D 1・D 2タンク等3基を除く46基のフランジ型タンクの解体が完了している。

Eタンクエリアのフランジ型タンク解体作業において、一部のタンク（D 1・D 2タンク）に底部残水（RO濃縮塩水等）の放射性物質濃度が高いことが確認されたため、漏えいのリスクを低減するために、タンク内の残水やスラッジの移送作業が、また、D 1 2タンクの解体作業が進められていることから、当該作業やEタンクエリアの状況を確認した。（図1）（写真1）（前回確認：令和4年10月27日（D 1・D 2タンク残水移送作業の状況）、令和5年1月6日（Eタンクエリアの状況））

なお、D 2タンクについては、残水移送作業が終了している。

- ・ Eタンクエリア内のフランジ型タンクの解体・撤去された場所のエリア中心付近に受水タンクが、また、同エリア南東部に6 m³コンテナが保管されていた。（写真2）
- ・ Eタンクエリア内に堰が複数箇所設けられており、その一部が重機により解体されていた。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
Eタンクエリアの状況①



(写真1-2)
Eタンクエリアの状況②



(写真2-1)
受水タンク保管状況



(写真2-2)
6 m³コンテナ保管状況



(写真3)
解体された堰及び重機の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。